

市議会議員改選後の議員の皆さんへ、図書館利用に関するアンケートをお願いしました。

回答は21名中13名(62%)の方から頂きました。主な回答は以下の通りです。

1. 図書館利用されている・・・9名
2. 議員活動で利用された・・・2名
3. 公図書館を活用して地方創生策を検討する考えは、今後の課題のようでした。

6/13(土) 江南市の講演会に出席しました!

講演会テーマ「図書館の持つ可能性」図書館が街を変える!人を変える!
講演者: 小林館長 ボランティア活動紹介: 桑澤会長

江南市「あおむしの会」主催の講演会で、小林館長さんから図書館の歴史、位置付け、読書の大切さなどについて具体的に講演されました。講演会に来てくださった方々から、「いいお話が聞けて良かった。ありがとうございます。」「目から鱗のお話でした」との言葉をいただきました。

あおむしの会は、江南市内の様々な活動をして見える方と話したり、中津川図書館の見学をしたりする中で、「新図書館建設を模索しながら、今の図書館も支えていく。市民と図書館の関係を結びつける役割を担う。」ということで、活動を進めていきたいと話してみえました。

図書館 司書さん・職員さんインタビュー

最近、図書館で銀髪の男性が本を運んだり、並べたりしている姿にお気づきの方、多いと思います。



後藤 幹雄さん

名古屋出身の後藤さんです。

団塊世代、五人男の五男坊との事。趣味は登山、歯科医の滝先生(故人)とポルネオのキナバル山に登った思い出を話してくれました。

『サンダカン八番娼館』(山崎朋子・著)を読み、感銘を受けていたので、この機会にと、カラユキさんのお墓をお参りしてきたそうです。カラユキさんのお墓は日本に背を向けて立っているそうです。(何故だかわかりますか?)

図書館での仕事は図書の配送、本の修理です。愛読書、お勧めの本は『黒部溪谷(冠松次郎・著)』です。

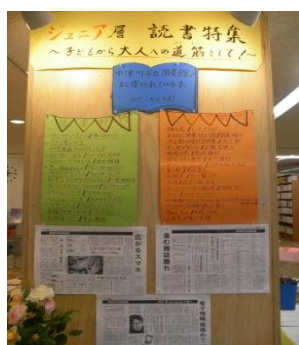
図書館ではいろんな分野の仕事をしてみたいですね。図書館は文化の発信元であり、その町の顔です。もっともっとすばらしい図書館にしていきたいんですと生き生きと話してくれました。

山の話、本の話など、もっと聞きたいと思いつつインタビューを終えました。

くらの展示 & ミニゼミ企画

5月のミニゼミは、図書館くらぶ員が講師となり25名が思い思いのシノブ玉を作りました。水苔やシノブを山へ取りに行ったり、事前準備が大変でしたが、参加者の「もっと作りたい!」「次回は違う植物で挑戦したい」などの声で全て報われ、やりがいのあるミニゼミでした。今回はシノブ玉の下に風鈴を飾れるよう工夫しました。

参加された皆様、その後順調に育っていますかあ?



6月の中央図書館展示「ジュニア層 読書特集」



川上「郷土の絵本作家」

★7月の展示・・・芝居小屋特集

・蛭子座(蛭川) ・明治座(加子母)

・常盤座(福岡) ・楽生館(川上) かおれ

★8月の展示・・・戦争と平和・血液

★7月のミニゼミ・・・

・「筑前琵琶演奏会」中央公民館ホール

7月1日(日) 13時半～15時

奏者・林恵子(林旭紅)さん

★8月のミニゼミ・・・

・「献血と街中保健室」

8月23日(日) 10時～16時

街中保健室で、お口の中の細菌をチェックしてみませんか?

くらぶ会員募集中!

会長 桑澤 宏康

TEL 0573 (66) 0249

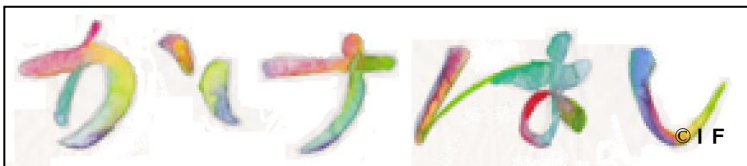


坂下「市内31各所の校歌」



山口「園芸」





6/20 国保上矢作歯科診療所
所長 石黒幸司先生の講演会

当日は口の中の基本的な構造や歯の種類、歯周病のメカニズム、歯磨きのポイント等を、お煎餅食酢・お茶などを使って説明された「理科の実験」を思い出す楽しい講義でした。



磨き残しなどは酸性になり、歯（カルシウム）を溶かします。唾液には酸性のもの中和する働きがあり、歯を守ってくれます。唾液の出が弱い、磨き残しがあるなどが原因で虫歯になります。虫歯の予防には、自分での丁寧な歯磨きと、定期的に歯科検診を受けることが大切ですと教えていただきました。

さすが地元の小学校を「歯の優良校日本一」に導いた先生です！先生の著書1冊も、今回図書館が購入してくれました。半分は子供向け絵本です。皆さんも是非手に取って、自分の大切な歯について学んでみませんか？

唾液の出を良くするには「かながわ健口体操」がお勧めとの事。詳細は神奈川県HPをご覧ください！
8月の街中保健室ではお口の中の細菌を見ることができまますよ！来てね！



山中湖情報創造館 見学ツアー

6月18日に山梨県の標高千メートル山中湖畔にある、村立山中湖情報創造館を、くらぶ会員他計40名で訪問しました。館長の丸山高弘さんに案内していただきました。



現地産のアカマツと杉の柱や梁、木の香りが漂う、こじんまりとしているながら、天井が高く広さを感じさせる建物でした。視聴覚・DVD制作デスクも充実しています。自動貸出返却装置が2台あり、稼働率90%で、その分、司書はより良いレファレンスサービスができます。特記すべきは、村民による選書です。年間図書購入予算500万円の内、100万円が村民選書に使われています。ツアーを組み、東京新宿の紀伊国屋書店に行き、一日がかりで選んでいます。

また、コーヒースペースがあり（100円カンパ方式）、館内どこでも自由に飲めるということでした。（汚した場合は自己責任です。）

旧尋常高等学校を模した研究棟があり、いろいろな会合に貸し出してもあるということでした。NPO法人によって管理運営されている図書館です。



〈自動貸出返却装置〉

図書館を身近に、暮らしの中に「私の図書館」

「図書館」と言えば、まず学校の図書館を思い出します。私は、熊本県阿蘇の小さな小さな学校で過ごしました。もちろん本屋などありませんでしたので、現代より学校の図書館がとても身近でした。多くの方がそうではないでしょうか。

古い木の香りのする「図書館」で、なんとなく開く本を読みながら、時には友達とわいわいこそそと雑談をして過ごす時間がとても好きでした。まあ、子供でしたので、一冊読むごとにスタンプを押してもらえるのが楽しみだったのかもかもしれません。

中学校に入ると文学書・SFと少し背伸びをして大いに読みましたが、なかなか難しく途中でやめた本も多くあります。

今は昔と違って、本は自由にどこでも読めます。「図書館」を利用しなくても…。

しかし、あの何とも言えない空間は、足を運ばなければ味わう事はできないでしょうね。

西山ゆかり